

西岡見聞録

6月の西岡公園見どころは!?

梅雨のない北海道の6月は、新緑が眩しく爽やかな季節を迎えます。園内を歩くと賑やかな野鳥のさえずりが聞こえます。そしてトンボの種類が多い西岡公園では、鮮やかな橙色の羽が美しいニホンカワトンボやサナエ科のトンボなどを木道で見ることが出来ます。木道の脇や、散策路の脇にも様々な花が咲いている事に気づくことでしょう。草花をじっくり観察してみると、どんな違いがあるのか調べてみたくなりませんか?変わった植物の名前を知るとその由来も気になります。管理事務所では園内で見られる動植物の情報発信もおこなっています。図鑑や書籍もご用意しておりますので、ぜひお立ち寄りになって調べてみてはいかがでしょうか?

【西岡公園で6月に見られる野鳥たち】

(日本野鳥の会 2017.6.4 札幌支部 HPより)

- | | | |
|----------|-----------|-----------|
| ・マガモ | ・ヤマゲラ | ・コサメビタキ |
| ・カツツリ | ・ヒガラ | ・キビタキ |
| ・キジバト | ・シジュウカラ | ・オオルリ |
| ・アオサギ | ・ヒヨドリ | ・ニュウナイスズメ |
| ・トビ | ・ウグイス | ・スズメ |
| ・コゲラ | ・ヤフサメ | ・ハクセキレイ |
| ・オオアカゲラ | ・オオムシクイ | ・カワラヒワ |
| ・アカゲラ | ・センダイムシクイ | ・シメ |
| ・ヤマゲラ | ・ゴジュウカラ | ・アオジ |
| ・ハシフトガラス | ・キバシリ | |
| ・ハシフトガラ | ・クロツグミ | |

【フタリシズカ】

5月にフラシ状の花序をつけるヒトリシズカに対して、フタリシズカの花序は2本とは限らず1本や栄養状態が良いと3~4本になることもあります。



日の当たる散策路でその姿が見れます。
小型で全開しない白花
ギンランには距があり、茎は無毛。
良く似たクゲヌマランは、距がありません。

【ギンラン】



この部分がホオズキ状になり果実を包みます。

【ミソホオズキ】

木道沿いで咲く黄色い花。
花冠はラッパ型をしていて正面からと横からでは印象が随分違います。
花が終わるとがくが成長してホオズキ状になります。



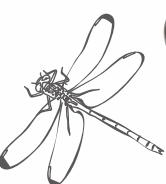
【正面】 ホオズキ状になり果実を包みます。

【カワセミ】

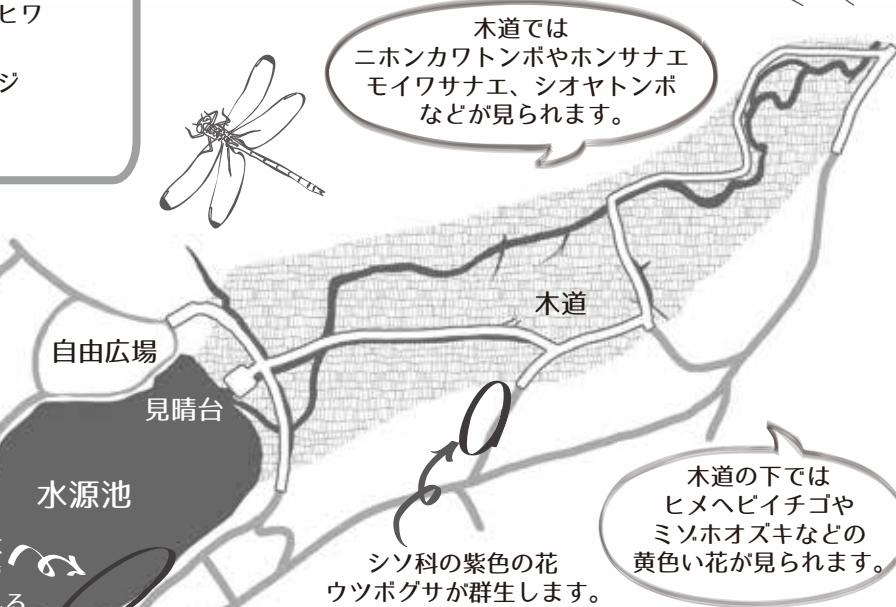
4~10月に見られ、青い背にオレンジ色の腹が「飛ぶ宝石」と呼ばれるほど美しく人気があります。
「チーーーー」と細く鋭い鳴き声で水源池を見下ろす木の枝で静かに獲物を狙っているかも!?



木道ではニホンカワトンボやホンサナエモイワサナエ、シオヤトンボなどが見られます。



木道の下ではヒメヘビイチゴやミソホオズキなどの黄色い花が見られます。



【ギンラン】



この部分がホオズキ状になり果実を包みます。

【ミソホオズキ】

木道沿いで咲く黄色い花。
花冠はラッパ型をしていて正面からと横からでは印象が随分違います。
花が終わるとがくが成長してホオズキ状になります。



【正面】 ホオズキ状になり果実を包みます。